



バラの会
ほんだ みえ 議員
本田 みえ

人間と猫の共生社会をどう作るか

Q 猫の遺棄の現状は。

A 県南保健所への持ち込み数は29頭（令和3年度中）。全て子猫。

Q 動物愛護管理法、罰則強化の内容は。

A 殺傷は5年以下の懲役または500万円以下の罰金。虐待、遺棄は1年以下の懲役または100万円以下の罰金。

Q その対策は。

A 保健所と連携して、適正飼養、地域猫活動による野良猫の不妊化の推進、ながさき犬猫ネットの周知などにより猫の譲渡を増やす取組をしている。

Q 上がっている苦情は。

A ふん尿、無責任な餌やり、庭、田畑を荒らされる被害など19件。

Q 対策は。

A 飼い主への指導、無責任な餌やりへの市の直接の指導。看板設置、回覧板チラシの配布など。

Q 空き家が増えた猫や高齢者が飼っていた猫など、飼い主がいない猫の譲渡会は。

A 例年9月、保健所主催、市後援「動物愛護フェスティバルin島原」の飼い主を探すコーナー。コロナ後中止。今年度も未定。

Q 地域猫活動のモデルケースを作っているのか。

A 苦情や指摘があり、正しい動物の接し方等を指導すべきと思う。啓発運動等を保健所と一緒に取り組めると考えている。

Q 行政とボランティア団体の官民連携で、登録ボランティア制度や活動のルールを決め、譲渡会の開催、広報による啓発活動を行ってはどうか。

A ボランティアの存在は大切、いろいろ検討したい。

政治参加は、明るい未来をつくる

Q 山形県遊佐町の少年議会に就いて主権者教育を考えてはどうか。
A 計画されれば出席したい。

【その他の質問項目】

◇性暴力を無くすために、急がれる社会全体の意識の醸成
◇生理の貧困、将来を見据えた対応を



庶民の会
はやしだ つとむ 議員
林田 勉

高規格道路開通を見越した移住・定住の促進を！

Q 今まで諫早・長崎・大村は遠く感じられたが、高規格道路開通後は長距離通勤も可能となることから、今後、移住・定住の誘導・促進をすべきと思うがどうか。

A 高規格道路開通後は子育て環境や自然環境がいい島原から県央等へ通勤し、週末は島原などが可能。今からその方向性を定めるよう考えるべきと思う。

Q インターチェンジ付近に住宅団地を開発し、移住・定住の促進など高規格道路を生かした中・長期を見据えた街の在り方や、新しい街づくりなど市の全体的な基本方針を今のうちに策定すべきと思うがどうか。

A 高規格道路開通後は様々な効果が期待できる。市として基本的な構想は必要と考える。農業振興と住居開発地域をどのようにできるのか、県にも働きかけてみたい。

島原市の「カーボンニュートラル」はどこへ向かう

Q カーボンニュートラルとは何か。

A 人が活動することで出す二酸化炭素排出量を、森が吸収できる量まで減らそうとすること。地球温暖化防止の考え方。

Q 市民にできること、行政でやることは。

A 冷・暖房の温度設定、自転車の利用、アイドリングストップなど。行政では地域再生エネルギー導入など。

Q 脱炭素の見える化で市民と楽しく協同で推進を。

A 数値の見える化は大切。国の補助事業を活用した基礎調査後、目標数値を設定する予定。

ごみ捨てマニュアル 外国語版の作成を

Q 外国人の誤ったごみ捨てに関する苦情もあると聞くが実態はどうか。

A コロナ前、事業主や近隣町内会からいろんな要望があった。

Q トラブル回避に、外国語版のごみ捨てマニュアルの作成をすべきと思うがどうか。

A 分かりやすいマニュアルができないか具体的に協議したい。